

令和5年度再生医療産業化推進事業（再生医療情報発信事業）に係る
公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 議事要旨

令和5年8月24日（木曜日）

1. 日時及び場所

○ 書類審査及びプレゼンテーション審査

令和5年8月24日（木曜日） 13時から16時10分

ライフサイエンス産業課会議室

2. 審査方法

あらかじめ定めた審査基準（公募要領に記載）に基づき、3名の選定委員が書類審査及びプレゼンテーション審査により100点満点で総合評価を行った。最終的に各選定委員の評価を集計し、評価点数の平均が60点を超え、提案者のうち最高得点の者を最優秀提案者として選定。

3. 審査対象者（提案者）

（1）Yoshi & Partners 合同会社

（2）再生医療産業化推進事業共同事業体

（株式会社読売新聞大阪本社、株式会社オズマピーアール）

（3）凸版印刷株式会社

（4）株式会社フルハウス

4. 議事要旨

① 選定委員会の公開・非公開について審議（非公開に決定）

② 審査方法及び審査基準の確認

（総合評価点の平均が60点に満たない場合は選定しない旨を確認）

③ 企画提案部分について、提案者が15分間のプレゼンテーションを実施

④ その後、選定委員から10分間の質疑応答を実施

⑤ 審査の結果、「再生医療産業化推進事業共同事業体」を最優秀提案事業者に決定

【主な委員意見】

○ 最優秀提案事業者は、自社メディアの強みや共同事業体であるPR企業との連携が、効果的な情報発信をするうえで評価できる。

○ また最優秀提案事業者は、他提案者と比較し提案内容が具体的であり、ウェブマーケティングの工夫や追加提案など積極性が見られ、大きな訴求効果が期待できる。

○ 音声なしでも理解できる映像コンテンツの作成や貸出媒体、アンケート結果もPRの手段とするように検討をお願いしたい。また、事業者から他のメディアや患者団体等へ関係を広げ、大阪・関西の再生医療分野を効果的にPRできるよう本事業が遂行されることを期待している。

5. 選定委員会委員の氏名及び選定理由（五十音順）

所属・職名等	氏名	選任理由
大阪デジタルコンテンツビジネス創出協議会事務局長	川合 和史	デジタルコンテンツに精通しており、提案内容が効果的な手法か、その必要性や実効性について審査いただくため

国立大学法人 大阪大学 共創機構 渉外部門長	正城 敏博	産学官連携の経験などを活かし、提案項目の具体性などについて審査いただくため
日本公認会計士協会 近畿会 公認会計士	宮島 広樹	企業会計や経営の専門家としての知見を活かし、審査していただくため